

役員会での議論の共有

役員会での議論の共有①

第1回 推進会議の現状について (R6.10.22)

○推進会議のこれまでの経過を振り返りながら、率直な意見交換。

〈主な意見〉

- **活動の負担感:** 「推進会議」や「長房の未来をつくる会」の役割を担うことで、他の地域活動ができなくなっている。
- **問題意識の共有不足:** 参加者、各々で地域課題の意識が違い、共有は難しい。なかなか議論が成立しない。
- **既存団体の役割:** 既存の団体の役割をこなすのが精一杯で、新たな活動に対する拒否感がある。
- **会議の実施方法:** 地域づくりの必要性は理解している。ただ、その手法（推進会議）を変えていかなくてはいけないのではないか。

役員会での議論の共有②

第2回 4つの「問い」を設けて推進会議に関する課題感を共有・整理（R6.11.13）

4つの「問い」

- Q1 そもそも、皆さんは何に期待して推進会議に参加されていますか。
- Q2 仮に、推進会議がなくなったらどうなると思いますか。
- Q3 推進会議でしかできないことはありますか。
- Q4 今後、推進会議はどうあったらいいと思いますか。

〈議論を通じてなんとなく共有できたこと〉

- 推進会議のような“地域のことを話し合う場”はあった方がいい。
- 現状の推進会議のやり方は、間違っている。⇒何とかしなくてはいけない。
- イベントをベースにした“つながり”から始めることがいいのではないか。
- ただ、本当に重要なことは、イベントの開催を通じた“つながり”を活かして、お互い（個人・団体）の困りごとや“本当の課題”の共有・解決に結びつけること。
- そのために、地域の人に活動を周知していくことも必要。

役員会での議論の共有③

第3回 これまでの議論を踏まえて今後の方向性を検討 (R6.12.3)

現在

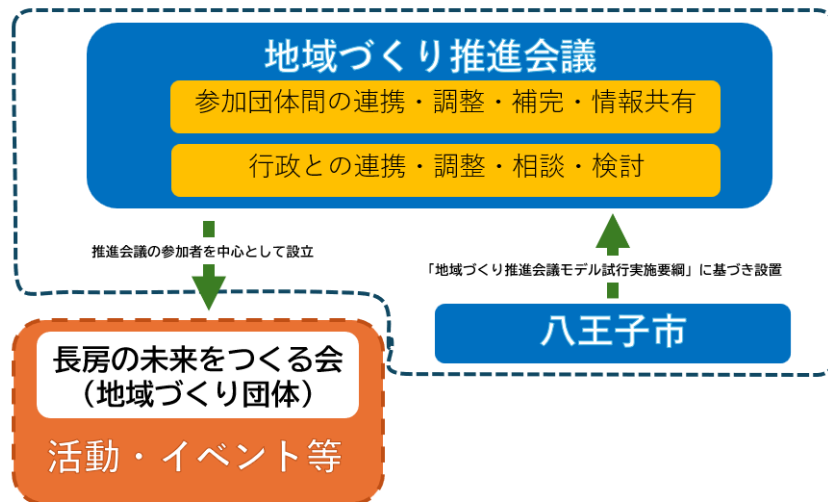
組織
2つ（推進会議と長房の未来をつくる会）

役割

- ・推進会議・・・主に議論と情報の共有
- ・長房の未来をつくる会・・・活動の実施

課題

- ・長房の未来をつくる会で活動は行えているが、推進会議での議論と情報共有が負担・形骸化。



今後

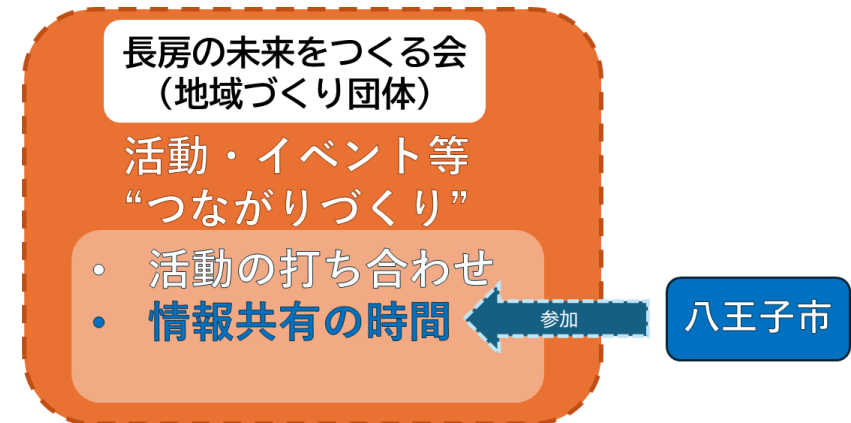
組織
1つ（長房の未来をつくる会に集約）

役割

- ・これまでどおりの活動を継続
- ・活動をベースにした“つながりづくり” “情報共有”

課題への対応

- ・推進会議でやっていた情報共有は“情報共有の時間”として維持。
- ・イベントをベースに参加者の循環。
- ・“本当の困りごと”の解決は、イベントを通じたつながりからスタート（希望）。



推進会議という議論と情報共有する組織ではなく、情報共有する時間（場）へ

役員会での議論の共有④

今後のスケジュールについて

来年度に向けて、役員会にて話し合いを継続

令和6年度

第4回 推進会議・長房の
未来をつくる会(今日)

役員会
×2回

第5回 推進会議・長房の
未来をつくる会(2月)

役員会
×2回

令和7年度

第1回 推進会議・長房の
未来をつくる会(4月)

来年度に向けた検討(頭出し)

- ・ 役員
- ・ 役員会
- ・ プロジェクト(活動)など

来年度に向けた検討(ほぼ確定)

- ・ 役員
- ・ 役員会
- ・ プロジェクト(活動)など

総会の開催

- ・ 前年度決算
- ・ 役員を選任
- ・ 令和7年度活動計画
- ・ 令和7年度予算